

あなたのキャリアを パワーアップ!

無料

福島大学
大学院経済学研究科

公開授業・相談会開催

福島大学大学院経済学研究科において、下記のとおり公開授業及び大学院入学、授業の履修に関する相談会を開催いたします。
大学院入学や大学院授業科目の受講をお考えの方・興味をお持ちの方は、この機会に是非、お出かけください。
(大学院経済学研究科の概要については裏面をご参照ください。)

日時 **12月7日(金)** 平成24年【公開授業／19:00～19:50】
【相談会／20:00～20:50】

場所 **コラッセふくしま 4階 多目的ホールA**
福島市三河南町1番20号(JR福島駅西口より徒歩3分)

公開授業科目・講師

「原子力災害から地域産業の復興を」

小山 良太 准教授



授業概要

原子力災害が地域社会・経済・産業に与える影響について、その全体像は未だに解明されていない。福島県の地域産業に関しては、「風評」被害が収束せず、事業継続意欲の減退が顕著にみられるようになってきている。福島県は多種多様な農産物を生産し、観光業も含め関連産業への波及効果も大きい地域であった。それゆえ原子力災害の影響は極めて大きい。

この克服のためには、大学や研究機関における試験研究の成果を、迅速に地域にフィードバックし、「地域産業の復興」につなげる体制を構築すること、復興の担い手を育成することが必要である。福島県に研究・教育・人材育成の拠点を設け、地域住民や市町村と接しながら調査研究・実践的教育を進めること、いち早く情報を公開すること、有効な対策を迅速に普及することが求められている。本公開授業では福島県における原子力災害の現状と課題について最新の研究成果を公開する。

申込
方法

メール、FAXまたは電話にて、『福島会場希望』とご連絡の上、氏名、連絡先をお知らせください。

メール:keizai@adb.fukushima-u.ac.jp FAX:024-548-3182 TEL:024-548-8353

締切:12月6日(木)(会場の関係上、先着100名とさせていただきます。)

入学試験のご案内

第Ⅱ期関係の入試	試験科目等	募集人員	出願期間	試験日
一般入試 第Ⅱ期	専門科目、外国語、面接	経済学12人 経営学9人	平成24年 12月20日(木)～ 12月26日(水)	平成25年2月2日(土)
専攻所属生対象特別入試 第Ⅱ期	面接			
社会人特別入試 第Ⅱ期	面接のための資料作成、面接			
修士再履修特別入試	面接			

※詳細については、募集要項を下記担当までご連絡いただいで入手のうえ、ご確認ください。(ホームページでもご覧いただけます。http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/)



国立大学法人
福島大学
Fukushima University

入試・募集要項に関するお問い合わせ

入試課 TEL:024-548-8064 メール:nyushi@adb.fukushima-u.ac.jp

修学・科目等履修生に関するお問い合わせ

教務課 TEL:024-548-8356 メール:k-somu@adb.fukushima-u.ac.jp

公開授業・相談会についてのお問い合わせ

経済経営学類支援室 TEL:024-548-8353 メール:keizai@adb.fukushima-u.ac.jp

福島大学大学院 経済学研究科



本研究科は経済学専攻と経営学専攻の2専攻からなっています。この2つの専攻のなかに、従来の修士論文必修の履修システム(新名称:「修士論文研究モデル」)に加えて、平成22年度から、高度職業人向けの履修システムとして「実務家・特定課題研究モデル」を設定しました。この履修モデルの特徴は、修士論文を必修の修了要件とはせず、企業などに勤めている社会人がレポート作成や調査などの実践を積み重ね、職業経験・実務経験などと関連した特定課題について研究レポートを作成し、審査を経て修了するモデルです。特定の分野についての高度な専門知識を深めるとともに、実践的応用力を身につけ関連分野で指導的役割を担う人材の育成を目指しています。また、修士論文執筆による修了を目指す方には「修士論文研究モデル」という新名称で従来の履修システムが継承されます。このモデルでは修士論文提出・審査合格が必須の修了要件となります。

経済学・経済史コース

このコースは経済学の理論と実証研究のための手法、そして歴史的視点に基づいた経済的認識を深めるためのコースで、変化の激しい現代経済の諸問題に対して、経済学の理論的な視点から企画・政策立案ができる人材を育成することを目標としています。

国際経済経営コース

このコースは、グローバル経済化する経済の構造や新動向をマクロ的・総合的に研究しようとする方々、アジア・EU・アメリカなど各国のグローバル経済への対応について研究しようとする方々、さらにグローバル経済のなかで個別企業の戦略や発展方向を研究しようとする方々のニーズに応えるためのコースです。

地域経営経済コース

このコースは、地域企業の動向を踏まえながら地域の振興・地域づくりを研究しようとする方々、また地域の政治と経済の動向を踏まえながら地域において企業の経営を発展させる方途を研究する方々、そして企業や自治体、地域社会の現場で働くなか、地域における自らの仕事をさらに充実させ意義あるものにしたいと考えておられる方々のニーズに応えるものです。

経営管理コース

このコースは、経営学関連科目と会計学関連科目を両輪として、企業経営に関する諸問題についての理論的な思考能力と実践的な経営管理(マネジメント)能力を身に付けさせることを目標とします。具体的には、高度な問題解決能力をもつビジネスリーダーやマネージャーを養成するとともに、会計スペシャリストの育成をめざします。また、高度な教育能力を持つ高等学校の商業科教員の養成や、現役商業科教員の再教育および中小企業支援機関職員の育成にも対応します。さらに、ビジネスやマネジメントに関する実践的感覚の養成のために、産業界との連携を図り、非常勤講師としての実務家の招聘やフィールド調査にも力を入れます。

郡山教室の開設について

経済学研究科では平成20年度より郡山駅前教室にて一部授業を開講しています。これらは、福島県経済の中心地である郡山におけるビジネスパーソンへの、高度に専門的かつ実践的な教育機会へのニーズに応えるものです。担当講師については、経済学研究科スタッフだけではなく、全国各地から優秀な研究者や実務家を招聘して良質なコンテンツを提供します。土曜日または日曜日の開講を基本としており、働きながら学びたい現時点および次世代のビジネスリーダーをターゲットとしています。

平成25年度開講予定科目

※下記の開講科目は、あくまでも予定であり、変更の可能性あります。

経営学特別研究(ビジネス・ストラテジー)

川上 昌直 兵庫県立大学教授

経営戦略の立案と実行、そして評価は、どのようにすればよいのか?本講義ではこのような問いかけについて、ケースやワークを交えながら、詳細に講義します。

経営学特別研究(組織論)

三崎 秀央 兵庫県立大学教授

経営組織について、ハードな側面とソフトな側面から探ります。これは学問的にいえば、組織構造論と組織行動論と呼ばれ、前者は組織の公式的な構造を取り扱い、後者は心理的な側面を取り扱います。

経営学特別研究(国際マーケティング論)

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) チーフコンサルタント 畦地 裕 氏

リーマン・ショック後立ち直りかけた世界経済も、欧州の金融不安、新興国のインフレ対策による景気減速懸念などで将来に暗雲が漂っており、さらに、日本経済においては東日本大震災による影響、円高、中国との関係悪化などによって大きなダメージを受けており、いまや企業が実施するマーケティング戦略は大きな転換点を迎え、抜本的な革新が求められています。本講座では、このような現在の市場環境において、マーケティングに関わる重要なテーマをとりあげ、「リレーションシップ・マーケティング」、「クロスメディアコミュニケーション」、「ブランドマネジメント」などこれからの時代に求められるマーケティングについて、実際の事例などを通して学び、実践的な新しいマーケティング立案力の習得をめざします。

経営学特別研究(実践演習)

伊藤 宏 教授

本演習は、「コスト・マネジメント」および「管理会計」に関する文献を講読することを通して、企業の管理の在り方を考えていくとともに、受講生に所属企業や組織の現状や問題点を報告してもらい、研究テーマの選定の参考にしていただく。

あなたのキャリアを パワーアップ!

無料

福島大学
大学院経済学研究科

公開授業・相談会開催

福島大学大学院経済学研究科では、連携協力協定を結んだゼビオ株式会社などの協力を得て、平成20年度より郡山駅前教室にて一部授業を開講しています。ここに下記のとおり授業を公開すると共に大学院授業科目の履修や入学に関する相談会を開催しますので、大学院授業科目の受講や入学をお考えの方、または、興味をお持ちの方は、この機会に是非お出かけください。

(郡山教室の概要、平成25年度開講科目については裏面をご参照ください。)

日時 **12月8日(土)** 平成24年【公開授業 / 13:00~14:00】
【相談会 / 14:10~15:00】

場所 福島大学大学院経済学研究科郡山駅前教室
郡山市駅前一丁目14-1増子駅前ビル5階



公開授業科目・講師

「IFRS国際会計基準の今」 衣川 修平 准教授

授業概要

会計基準がIFRS国際会計基準に統一されようとしています。そのIFRSとはそもそもどのような会計思考に基づいて設計されているのでしょうか。またIFRS導入にはどのような問題が存在するのでしょうか。この講義を聞いてちょっと部下にIFRSのうんちくを話せるようになります!

申込方法

メール、FAXまたは電話にて、『郡山教室希望』とご連絡の上、氏名、連絡先をお知らせください。

メール: keizai@adb.fukushima-u.ac.jp FAX: 024-548-3182 TEL: 024-548-8353
締切: 12月6日(木) (会場の関係上、先着30名とさせていただきます。)

入学試験のご案内

第II期関係の入試	試験科目等	募集人員	出願期間	試験日
一般入試 第II期	専門科目、外国語、面接	経済学12人 経営学9人	平成24年 12月20日(木)~ 12月26日(水)	平成25年2月2日(土)
専攻所属生対象特別入試 第II期	面接			
社会人特別入試 第II期	面接のための資料作成、面接			
修士再履修特別入試	面接			

※詳細については、募集要項を下記担当までご連絡いただいで入手のうえ、ご確認ください。(ホームページでもご覧いただけます。 <http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)



国立大学法人
福島大学
Fukushima University

入試・募集要項に関するお問い合わせ

入試課 TEL: 024-548-8064 メール: nyushi@adb.fukushima-u.ac.jp

修学・科目等履修生に関するお問い合わせ

教務課 TEL: 024-548-8356 メール: k-somu@adb.fukushima-u.ac.jp

公開授業・相談会についてのお問い合わせ

経済経営学類支援室 TEL: 024-548-8353 メール: keizai@adb.fukushima-u.ac.jp

郡山教室の開設について

経済学研究科では平成20年度より郡山駅前教室にて一部授業を開講しています。これらは、福島県経済の中心地である郡山におけるビジネスパーソンへの、高度に専門的かつ実践的な教育機会へのニーズに応えるものです。担当講師については、経済学研究科スタッフだけではなく、全国各地から優秀な研究者や実務家を招聘して良質なコンテンツを提供します。土曜日または日曜日の開講を基本としており、働きながら学びたい現時点および次世代のビジネスリーダーをターゲットとしています。

平成25年度開講予定科目

※下記の開講科目は、あくまでも予定であり、変更の可能性があります。

経営学特別研究(ビジネス・ストラテジー)

川上 昌直 兵庫県立大学教授

経営戦略の立案と実行、そして評価は、どのようにすればよいのか？本講義ではこのような問いかけについて、ケースやワークを交えながら、詳細に講義します。

経営学特別研究(組織論)

三崎 秀央 兵庫県立大学教授

経営組織について、ハードな側面とソフトな側面から探ります。これは学問的にいえば、組織構造論と組織行動論と呼ばれ、前者は組織の公式的な構造を取り扱い、後者は心理的な側面を取り扱います。

経営学特別研究(国際マーケティング論)

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
チーフコンサルタント 畦地 裕 氏

リーマン・ショック後立ち直りかけた世界経済も、欧州の金融不安、新興国のインフレ対策による景気減速懸念などで将来に暗雲が漂っており、さらに、日本経済においては東日本大震災による影響、円高、中国との関係悪化などによって大きなダメージを受けており、いまや企業が実施するマーケティング戦略は大きな転換点を迎え、抜本的な革新が求められています。本講座では、このような現在の市場環境において、マーケティングに関わる重要なテーマをとりあげ、「リレーションシップ・マーケティング」、「クロスメディアコミュニケーション」、「ブランドマネジメント」などこれからの時代に求められるマーケティングについて、実際の事例などを通して学び、実践的な新しいマーケティング立案力の習得をめざします。

経営学特別研究(実践演習)

伊藤 宏 教授

本演習は、「コスト・マネジメント」および「管理会計」に関する文献を講読することを通じて、企業の管理の在り方を考えていくとともに、受講生に所属企業や組織の現状や問題点を報告してもらい、研究テーマの選定の参考にしていただく。

在学生からのメッセージ

面川 祐一 (経営学専攻1年)

私は工業用ゴム製品の製造・販売を行うメーカーに勤務し、経理・原価計算の業務を担当しています。

この厳しい社会情勢の中で会社の体質改善・採算性向上に貢献するためには、さらに知識とスキルを身につけなければならないと感じて今年の4月から福島大学大学院経済学研究科で学ばせていただいております。

大学院の授業は基本的に少数で開催されるので、先生方とともに学ぶ大学院生とのコミュニケーションが密に取れます。

学ぶ内容は高度であり、場合によってはレポートを準備しなければならないなど、久しぶりに学び舎に来た私にとってはキツいと感じることはありますが、授業内容を理解できたり、レポートを完成したときの充実感は何ものにも代えがたく自分の成長に繋がっていると実感しています。

これからの人生の幅を広げ、自分の可能性を高めていくのもってこの環境です。



本研究科は経済学専攻と経営学専攻の2専攻からなっています。この2つの専攻のなかに、従来の修士論文必修の履修システム(新名称:「修士論文研究モデル」)に加えて、平成22年度から、高度職業人向けの履修システムとして「実務家・特定課題研究モデル」を設定しました。

この履修モデルの特徴は、修士論文を必修の修了要件とはせず、企業などに勤めている社会人がレポート作成や調査などの実践を積み重ね、職業経験・実務経験な

どに関連した特定課題について研究レポートを作成し、審査を経て修了するモデルです。特定の分野についての高度な専門知識を深めるとともに、実用的応用力を身につけ関連分野で指導的役割を担う人材の育成を目指しています。

また、修士論文執筆による修了を目指す方には「修士論文研究モデル」という新名称で従来の履修システムが継承されます。このモデルでは修士論文提出・審査合格が必須の修了要件となります。